

雫 -shizuku- 松下幹生

仕事から 疲れて帰り  
郵便受けに 届いた封書  
開けてみたなら…  
あの娘から来た 最後の手紙  
「さよう(ならば口パク)」それだけで  
後は何にも 書いてない  
わずかに文字が 滲んでる  
女の想い 手紙に託す  
涙の雫 -shizuku-

突然に 姿を消した  
あの娘の想い じんわり沁みて  
頭をかかえ…  
外に飛び出し 夜空に名前  
叫んでた！ 絞るよに…  
別れの訳も わからない  
あの娘の涙 愛おしく  
涙を残し 姿を消した  
未練の雫 -shizuku-

手紙に何も 書いてない  
わずかに文字が 滲んでる  
女の想い 手紙に託す  
涙の雫 -shizuku-